

旧神応小学校本格活用に係る施設整備計画（素案）について 概要版

高輪地区総合支所管理課
高齢者支援課
保育・児童施設計画担当

令和元年10月28日 資料No.2
区民文教常任委員会

1 旧神応小学校の現況の施設概要 (P2)

- (1) 所在地 港区白金六丁目338番(地名地番)
- (2) 敷地面積 4,953.78㎡(昭和45年7月1日付計画通知)
- (3) 用途地域等 第一種中高層住居専用地域(容積率160%、建蔽率70%)
- (4) 校舎棟 延べ面積 3,400.56㎡ RC造4階(昭和42年竣工)Is値0.6
- (5) 体育館棟 延べ面積 609.82㎡ SRC造2階(昭和46年竣工)Is値0.65



2 整備する施設 (P6~P8)

| 設置階 | 施設 | 備考 |
|-----|--------------|----------|
| 4階 | いきいきプラザ | |
| | 区民協働スペース | |
| 3階 | 学童クラブ | 定員170人規模 |
| 2階 | 区立認可保育園 | |
| 1階 | 区立認可保育園 | 定員160人規模 |
| | いきいきプラザ(体育館) | |

4 その他 (P9~P10)

- (1) 歩行空間の確保 (ゾーニング案 1階 P32)
歩行空間の確保については、施設整備の中で歩道状空地を確保することで改善します。
- (2) 防災機能の拡充 (ゾーニング案 1階 P32)
区民避難所として同等規模を確保しつつ、非常用発電設備及びマンホールトイレを整備します。
- (3) 自転車シェアリングポートの設置 (ゾーニング案 1階 P32)
自転車シェアリングポートを敷地の一部に整備します。
- (4) 体育館の取扱い (ゾーニング案 1階 P32)
体育館は、学童クラブやいきいきプラザなど様々な事業や、イベントを通じた多世代交流の場、地域のスポーツ活動の場などとして多目的な利用が想定されます。体育館については、いきいきプラザの諸室に位置付けるとともに、複合施設として各施設の相互利用や多目的な活用ができるよう、柔軟に対応します。
- (5) プール及び運動場の取扱い (ゾーニング案 1階 P32)
プールは消防水利として今後も維持しつつ、プール上をカバーし、カバー上のスペースを運動スペースとして学童クラブや地域開放で活用します。

3 旧神応小学校本格活用に係る施設整備計画（素案） (P6~P8)

(1) 認可保育園の整備 (ゾーニング案 1階・2階 P32・P33)

既存校舎の1階及び2階を活用し区立認可保育園を整備します。
平成31年4月1日現在で区の待機児童は解消されましたが、区内の就学前人口は今後も増加していくと予測されていることから、旧神応小学校の既存校舎を活用して区立認可保育園を整備し、校庭部分は保育園の園庭として活用します。なお、園庭については、区立認可保育園の役割として、園庭のない近隣の私立認可保育園に対して外遊びの場として提供します。

ア 定員規模について

港区三光保育室の在園児の受け入れ先の確保及び今後の高輪地区の就学前人口の増加など考慮した結果、定員160人規模の認可保育園を整備することとします。

イ 整備・運営手法について

区内の公私立の認可保育園のバランス、区の財政負担、保育園の規模、建物の構造上の制約等を総合的に勘案した上で、区立認可保育園として整備し、運営手法については、平成27年12月に策定した「港区の今後の保育行政のあり方について」に基づき、指定管理者制度を導入することとします。

(2) 学童クラブの整備 (ゾーニング案 3階 P34)

既存校舎3階を活用して学童クラブを整備します。

旧三光小学校は、令和5年度以降小学校等の改修時の仮校舎等として活用するため、三光学童クラブ(現定員160人)の代替施設を確保する必要があります。

旧神応小学校は、白金の丘小学校から約350mと近く、学童クラブに必要な学童クラブ室のほか、校庭、体育館の利用も可能であることから、学童クラブを整備します。なお、整備にあたっては、今後の人口増加に伴う学童クラブ需要の増加に対応するため、定員は170人規模とします。

(3) いきいきプラザの整備 (ゾーニング案 1階・4階 P32・P35)

既存校舎4階及び体育館を活用していきいきプラザを整備します。

今後の高輪地区の人口増加を見据え、地元を中心にあらゆる世代の区民が親しみをもって利用できるよう、敬老室及び貸室等の機能を備え、高齢者(60歳以上)の生きがいがづくり、健康づくり、コミュニティ活動の場となる施設として整備します。

(4) 区民協働スペースの整備 (ゾーニング案 4階 P35)

既存校舎4階の旧音楽室部分を活用し区民協働スペースを整備します。

区は、施設の有効活用を基本に、地域要望を踏まえ、施設全体の面積規模や整備費用、ランニングコストなどを考慮した考え方のもとに区民協働スペースを整備しています。

旧神応小学校は学校開放等を通じて、これまで町会活動の拠点であった経緯があり、今後も継続して地域課題の解決に向けた区と区民との協働や公益的な活動を行う場を確保する必要があることから、区民協働スペース2室(室境壁は可動間仕切とし1室で使用可とする。)を整備することとします。

5 工事の見込費用概算 (P6)

約15億円

旧神応小学校の既存校舎は、躯体の健全性が確保されており、長寿命化が可能であることから、既存建物を再活用します。

6 今後のスケジュール(予定) (P30)

令和元年度

住民説明会(報告・意見聴取)
パブリックコメント(区民意見募集)
施設整備計画策定

令和2年度

基本設計着手
保管物品撤収

令和3年度

実施設計

令和4年度

着工

令和5年度

竣工

旧神応小学校本格活用開始